

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス たまゆい		公表日		令和8年2月26日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	6	間取りの関係上、機能訓練室が2つに分かれており、それぞれに小集団活動用、個別活動用と区別して使用しています。
2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		8	0	子どもの障害特性や送迎を考えて、職員の配置をおこなっています。	引き続き適正配置に努めています。	
3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7	1	・子ども達には活動室、学習室、遊びの部屋と分かれていて分かりやすいと思います。 ・子ども達には転倒防止の為、靴下を脱いだり、階段をゆっくり昇り降りするように声掛けをしています。 ・階段は急であるが、手すりや転落防止の柵を設置しています。	・戸建て住宅のため、完全なバリアフリー化は難しいが、引き続き子どもに分かりやすい環境の工夫と改善に努めます。 ・おもちゃの片づける場所などが乱雑になりがちなため、視覚的に分かりやすいよう工夫していきます。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。		8	0	活動後、毎日清掃をしっかりと行っています。	今後も徹底しておこなっていきます。	
5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	3	クールダウンが必要な状態となった場合、確立した隔離スペースがないため、職員室を使用することがあります。	・部屋数に限りがあり明確な区分が出来ていません。 ・パーティションやカーテンなどで仕切ったり、安全面を考慮した上で可能な工夫をおこなっていきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	4	常勤職員の中では比較的意见を出し合い、改善に向けた取り組みがおこなやすい環境ができています。	常勤職員だけでなく、パート職員にも参加している実感を感じてもらえるようミーティングの機会等を通じて、積極的な参加を促していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	毎年実施しており、会議の開催により保護者等の意見を把握する機会を確保しています。また、評価表の回答率も高水準となっています。	評価表に限らず、保護者からのご意見に対しては真摯に向き合い、対応に当たるよう引き続き努めて行きます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	意見等を出しやすい環境ができています。	引き続き良い雰囲気、職員同士の関係性を維持し、率直な意見を出し合える環境維持に努めていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	第三者による外部評価はおこなっていません。	今後の課題として実施を検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	オンライン研修を導入しており、法定研修以外にも個人のスキルを上げるための研修受講の機会を設けています。	研修計画などブラッシュアップを図り、年間～数年計画での充実した研修への取り組みを推進していきます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・事業所としての支援プログラムは職員同士で話し合い、作成の上、ホームページに公開しています。 ・日々の支援プログラムはHUGアプリを通してお知らせをしています。	引き続き適切な公表、公開に努めていきます。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	1	保護者と子どものニーズに沿って適切に行うよう、努力しています。	引き続き適切なアセスメント・情報共有を行い、個別支援計画書を作成していきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	子どもの最善の利益を考慮するように検討しています。	より一層「子どもの最善の利益」という視点を持って検討を進めていけるよう努めていきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	全職員が共有できるよう、ミーティングを行ったり、計画書の回覧をしています。	引き続き、ミーティング等に確認をし、計画に沿った支援が行えるよう努めていきます。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	5	・専門的支援の個別療育では評価表を用いて適宜判断し見直しをしています。 ・インフォーマルなアセスメントは日々行っています。	標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントの導入について、今後検討していきます。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	こどもに合わせて、必要な項目への具体的な支援内容となるよう設定しています。	引き続き必要な項目の設定、各項目ごとにおける具体的な支援内容の設定を心がけていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	プログラムを検討する会議を常勤職員が全員出勤の日に開催し、意見を出し合い決めています。	引き続き現在の決定プロセスを継続していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	活動プログラムは5領域に沿って内容が固定化しないよう工夫しています。	継続していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個々の状況に応じて集団活動だけでなく、個別専門的な支援ができるよう実施体制を整備するなど、支援の充実強化に取り組んでいます。	個別活動と集団活動の組み合わせによる支援の充実を図っていますが、更に充実した支援の提供ができるよう支援内容の検討、体制整備への取り組みを強化していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・特に手厚い支援が必要なこどもが来所する日には、この場面では誰が対応するか等しっかり決めています。 ・パート職員も含め当日の出勤者全員揃ってのミーティングを行っています。	打ち合わせは必ず行っていますが、学休日などで朝礼に十分な時間が確保できない時の情報伝達に課題があります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	5	支援終了後、全員揃っての場ではないが、管理者等への報告を行った上で、共有すべき事項については翌日のミーティング時に確認をしています。	送迎や終業時刻が同一ではないなどの理由から当日中の全体での振り返りはできていませんが、引き続き翌日のミーティング等での振り返りや共有を徹底していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	記録は丁寧にとるようにしており、振り返りが可能な状態にしています。	引き続きHUGシステムを有効活用し、スタッフ間の情報共有に努めていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	児童発達支援管理責任者を中心にミーティング等を通じてその必要性を判断し、適切な見直しをおこなっています。	継続していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	3	活動プログラムの考案時、4つの基本活動が全て入るように話し合い決めています。	継続していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1	一定のルール、方針のもと行う活動においても、こども自身が選択できる要素を残し、選択の機会を提供しています。	選択肢は作るようにしているが、自己決定をする力を育てるという視点をより一層強く持って支援をおこなっていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児童発達支援管理責任者またはそのこどもとよく関わっている職員が参加するようにしています。	継続していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	5	学校とは担任の先生を通じて情報共有を行うなど連携できていますが、他機関との連携については体制が取れているとまでは言えません。	保健、医療、障害福祉等関係機関との連携については、個々の状況も考慮し必要に応じた連携が図れるように努めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	行事予定や下校時間の変更等は保護者からの連絡で把握しています。	今後もお迎え時に担任の先生との引継ぎなどを行うなど、情報共有、連絡調整など適切におこなっていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	6	直接利用していた施設との情報共有は行えていませんが、相談支援専門員や保護者を通じて情報収集に努めています。	今後、電話などでの情報共有を必要に応じておこないます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	7	該当該当者がいないため、おこなっていません。	今後、該当者がいる場合は適切に対応していきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4	現時点では設けていません。	今後、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会についても検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	プログラムの中に児童館での活動等を組み込んでいます。	機会提供が少ないのが課題であるので、今後、そういった機会を増やせるようプログラムについて検討を重ねていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	7	協議会などへの参加はできていませんが、今年度開催された協議会主催の研修には参加する機会がありました。	今後、事業所として積極的に関わられるよう体制構築に努めていきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・面談やモニタリングを通じて共通理解を持つようになっています。 ・送迎時や活動記録において日々の状況を伝えるように努めています。	今後より一層保護者との共通理解を持つために、事業所から保護者との連携を密にするための機会提供に努めていきます。

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	部外講師による講演会を開催しました。	次年度以降も講演会の開催、また、研修の機会や情報提供等についても検討をしていきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に説明を行うとともに、変更が生じた際には追加説明を行うようにしています。	今後も保護者様が理解しやすいように、また、最新の情報をお伝えできるよう丁寧な説明に心がけていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	作成に際しては保護者様から現状や要望、支援に対する意見を聴くなどの機会を設けています。	今後も継続してまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1	作成した支援計画書を示しながら対面又は電話にて説明をおこなった上で同意をいただいています。	今後も丁寧な説明をおこなってまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	保護者から発信があった際には時間をとって相談に応じようとしています。	保護者発信の相談等には応じているものの、相談先としてより広く受け入れていただけるよう更なる関係性の構築等環境設定に努めていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	7	現状行えていません。	講演会は開いたが、保護者同士での交流の機会の提供までには至っていないので、このような機会の提供も行えるよう、検討を進めていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	実際に苦情があった場合には速やかに情報共有をおこない、対応を心がけています。	今後も迅速かつ適切な対応に努めてまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	2	定期的な通信の発行やSNSを活用した情報発信は行っていませんが、HUGシステム（アプリ）により詳細な情報共有を行っています。	引き続き、保護者様への情報発信を丁寧に行ってまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	4	個人情報の取扱いに関する不徹底など、組織的対応に不備があり、個人情報の紛失という事態を招いてしまいました。	個人情報記載されたものは持ち出さない等ルールをより一層明確化するとともに、教養の推進により意識改革をおこなってまいります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	2	・昨年から引き続き、施設内における掲示物や環境は分かり易く自分で行えるように工夫しています。 ・文字や言葉で理解が難しい子どもに対しては、イラストや絵を使い意思疎通ができるよう努めています。	意思の疎通がしっかりと図れないお子さんに対しては、体調面やケガなどについてもしっかりと確認し、どのような些細なことでもすぐに気づけるよう意識すると共に、必要に応じてすぐ保護者や学校等に確認するなど徹底してまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	近隣のグループホームの方をクリスマス会に招待し、子どもたちとも交流しました。	今後も交流が持てるように良好な関係を築いていきたいと思っております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	職員への周知、訓練は継続して行っています。	子ども参加の訓練等は記録を保護者へも公開していますが、マニュアルの周知までは行えていません。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	実施しています。	定期的な計画の見直し等、ブラッシュアップを図ってまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	1	・契約時、保護者に確認をするようにしています。 ・保護者からの新たな情報があれば、職員間で周知しています。	引き続き保護者との情報共有を徹底してまいります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	医師の指示書はないが、起こった場合の対応の仕方等保護者に同意を得ています。	医師の指示書の確認はおこなっていませんが、今後、保護者様と相談し、必要な対応を行ってまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1	安全計画を所管する委員会の設置をおこない、実効性の伴う計画や環境設定ができるよう対応を進めています。	引き続き安心安全な環境の提供に努めてまいります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	7	安全計画に基づく取り組み内容について、保護者様への周知が不十分な点があると認識しています。	保護者への周知を進めてまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	ヒヤリハットがあった場合はまず簡易記録にメモをし、月1回常勤職員が全員出勤する日に再発防止など話し合いを行っています。その後、報告書を作成し非常勤職員にも周知しています。	引き続き共有を徹底するとともに、検討した対策を有効なものとし、安全安心な事業所作りにも努めてまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	・虐待防止委員会の設置を行っています。 ・研修を毎年一回実施しています。	引き続き継続した研修の機会を持ち、適切な対応に努めてまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	3	身体拘束適正化委員会を設置しており、組織的な仕組み作りと対応体制を整え、適切な対応を行っています。	引き続き適切な対応に努めてまいります。